

佐渡市地域クラブ活動たより

令和7年9月8日発行 第5号 佐渡市教育委員会 社会教育課

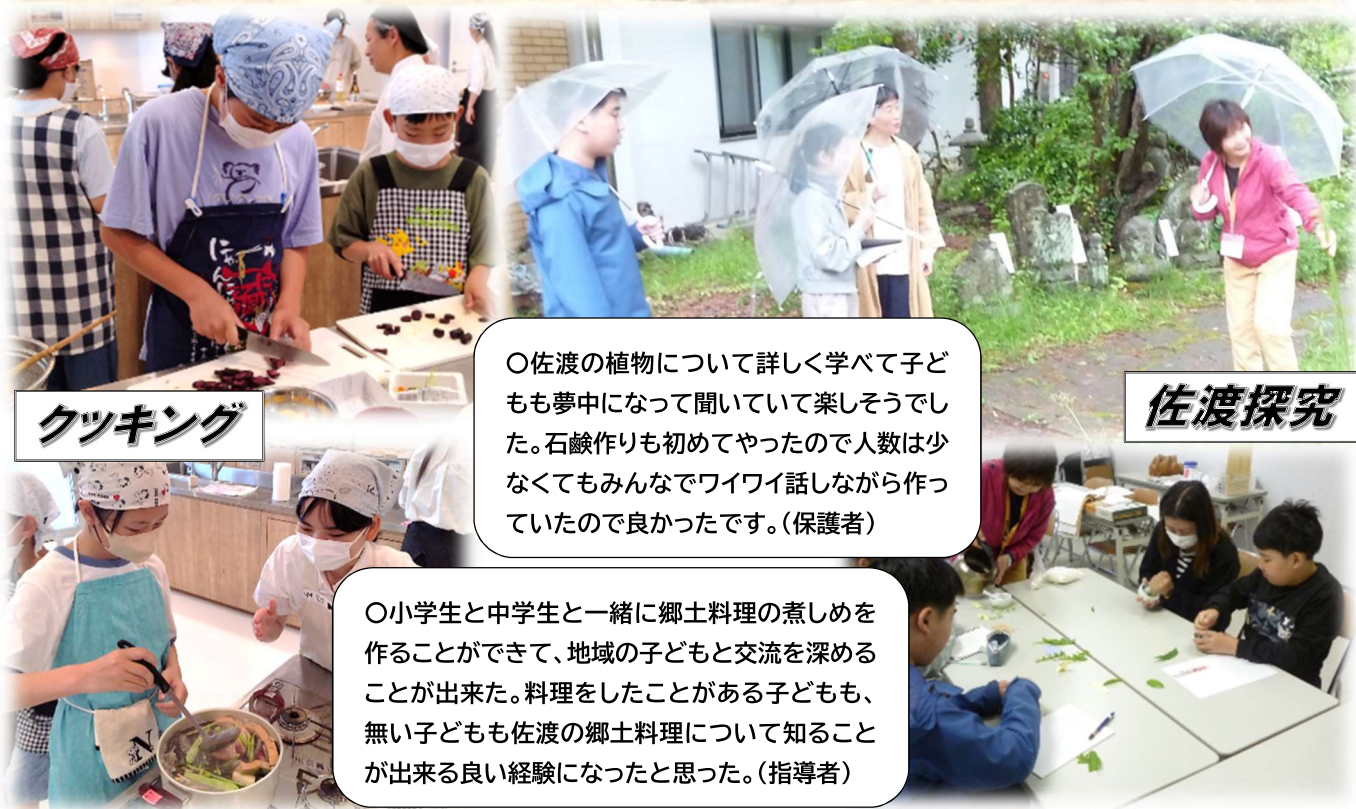
今年度から小学5・6年生も参加しています

佐渡市地域クラブ活動では、今年度からエンジョイ型種目で小学5・6年生の募集も始めています。エンジョイ型の参加者は、中学生よりも多く56名となっています。(7月16日現在) やってみたいという想いは中学生と同じで熱心に活動しています。異年齢交流の幅も広がり、種目の活動を楽しむとともに人との触れ合いから貴重な体験をしている様子が見られます。今回は、小学生も参加している種目(サッカー、クッキング、佐渡探究)と伝統芸能の魅力として鬼太鼓、指導者の想いとして空手を紹介します。



○中学生と仲良くできて楽しかったです。(児童)

サッカー



クッキング

○佐渡の植物について詳しく学べて子どもも夢中になって聞いていて楽しそうでした。石鹸作りも初めてやったので人数は少なくてもみんなでワイワイ話しながら作っていたので良かったです。(保護者)

佐渡探究

○小学生と中学生と一緒に郷土料理の煮しめを作ることができて、地域の子ともと交流を深めることが出来た。料理をしたことがある子どもも、無い子どもも佐渡の郷土料理について知ることが出来る良い経験になったと思った。(指導者)

鬼太鼓の指導者の方に聞きました

Q1 鬼太鼓の魅力は？

一般的に鬼は悪役のイメージがありますが、佐渡の鬼は厄（やく・悪いこと）を追い払うヒーロー的存在です。太鼓のリズムに合わせ、神の化身となり踊る姿は勇壮かつ幻想的なのが魅力です。

また、裏打、獅子、担ぎ手、提灯持ちなど、それぞれの役割の中で一緒になって盛り上げている鬼太鼓はその地域の歴史と文化そしてパワーを表現しています。

Q2 鬼太鼓を続けてきた想いは？

実は長木の鬼太鼓は若い踊り手がいなくなり、過去2回も休止の時期がありました。地元の祭りが無くなると寂しさを感じます。子どもたちにふるさとの祭り、ここに住んで良かったと感じる賑わいのある地域作りの為、鬼太鼓を残すことが大切だと思います。保存会を発足し21年になる長木鬼太鼓には復活した太鼓の響きを感じられます。

Q3 鬼太鼓を通して小中学生に伝えたいこと？

佐渡には鬼太鼓をはじめ、佐渡おけさや能など昔からの芸能がたくさんあります。佐渡の歴史や文化の魅力を学びながら、地域や人々との関わり合いを楽しんで頂きたいです。この機会にふるさとの祭りに参加し、将来は地元の鬼太鼓（ヒーロー）を演じて欲しいと思います。

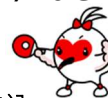
○初めての動きを練習したので戸惑いながらも、子どもたちががんばっている姿を見ることが出来てうれしかったです。(指導者)

○空手を少しでも知ってもらえればと思って指導しましたが、人に教えるのは難しいと思いました。(指導者)



随時道具のリユースを募集しています!!

グローブ、バット(野球)、ラケット(ソフトテニス、バドミントン、卓球)、各種楽器(吹奏楽、ギター) など
ご協力いただける道具(使用可能)があれば地区公民館にお持ちください。



随時参加者を募集しています!!

新たな参加希望や活動種目・場所の変更については、20日程度の期間があれば参加可能です。

詳しくは、教育委員会 社会教育課までお気軽にお問い合わせください。

中学生用申込



小学生用申込

